

I・TOP横浜「まちの回遊性向上プロジェクト」 実証実験第2弾を実施します！

横浜市は、「I・TOP横浜^{※1}」の取組として、街の回遊性を向上させ、周辺施設への送客効果による経済の活性化、にぎわいの創出に寄与することを目指し、昨年度、株式会社NTTドコモ、株式会社未来シェアとともに「まちの回遊性向上プロジェクト^{※2}」を立ち上げ、「AI運行バス」の実証実験を実施しました。この度、昨年度に引き続き、「AI運行バス」の実証実験を実施します。

第2弾実証実験の特徴

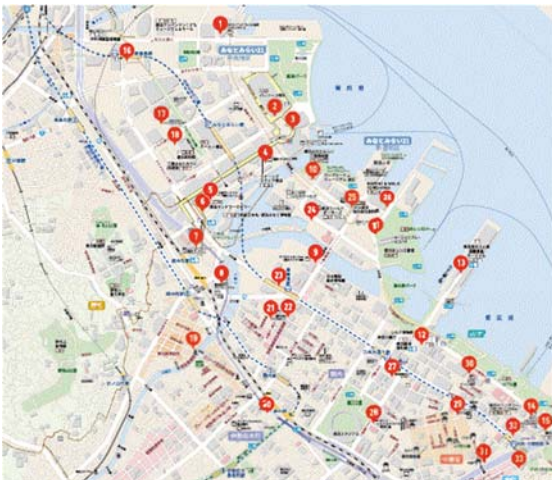
- タクシー車両に加え、ニーズの高いルート（桜木町ー赤レンガパシフィコ横浜）には、横浜市交通局が小型バスの運行により参画
- 車いすなどに対応したユニバーサルデザイン車両の配車機能を追加

運行日時**10月10日（木）～20日（日）10時00分～21時00分****乗車方法**

- ① スマートフォンでAI運行バス専用アプリをダウンロードしていただくか、Webアプリの登録ページで、観光施設一覧などから降車ポイントを指定します。
- ② 最寄りの乗車ポイント、乗車人数、乗車時間を指定して予約します。
どなたでも無料で乗車できます！

みなとみらい21地区、関内地区内のスポットを便利でお得に回遊！

▼乗車降車ポイントは、商業施設、宿泊施設等33か所あります。



▼AI運行バス



▼交通局小型バス



お問い合わせ先

実証実験全体：経済局新産業創造課長 高木 秀昭 Tel 045-671-3913

小型バスの運行：交通局自動車本部営業課観光・貸切担当課長 森 香里 Tel 045-326-3843

※本件は、株式会社NTTドコモと国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構も同様の発表をしています。

※本件は、経済記者クラブにも同時発表しています。

裏面あり

A I 運行バスについて

スマートフォン等を用いて、観光施設やグルメスポット、イベント情報を検索し、検索結果から、降車ポイントを指定し、その後、最寄りの乗車ポイント、乗車人数、乗車時間を指定して回遊できます。

さらに、リアルタイムな観光情報やクーポンを獲得できるため、まちを楽しめます。



参考

※¹ I □ TOP横浜（IoTオープンイノベーション・パートナーズ）とは

横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoT等（IoT、ビッグデータ、AI、ロボット等）を活用したビジネス創出に向けた、交流・連携、プロジェクト推進、人材育成等を包括的に進めていくプラットフォームです。これらの取組から個別プロジェクトを立ち上げ、「新たなビジネスモデル創出」、「中小企業のチャレンジ支援」、「社会課題解決への貢献」を目標としています。

※² I □ TOP横浜「まちの回遊性向上プロジェクト」とは

今後、インバウンド、観光客の増加が見込まれる中、都心臨海部をはじめ、人々が様々な目的に応じて移動できるよう、幅広い交通手段による回遊性づくりは横浜市にとって喫緊の課題です。

まちの回遊性向上プロジェクトでは、新たな交通サービスの実現により、観光客・来街者の需要に応じた交通環境を整備することで、街の回遊性を向上させ、周辺施設への送客効果による経済の活性化、にぎわいの創出に寄与することを目指しています。

昨年度は、10～12月の66日間、みなとみらい21・関内地区において、オンデマンド乗合交通システム「A I 運行バス」の実証実験を実施し、約3.4万人の方にご利用いただきました。

